

八街市協働のまちづくり検討会分科会報告書

分科会名	第3分科会		
テーマ	防犯・防災・ボランティア		
開催日	平成26年11月20日	検討回数	第11回(自主開催)

検討結果概要

1. 今回検討した項目

○防犯・防災・ボランティアの各テーマごとのキーワード・スローガン・アイデアについて

2. 今回の討議した内容(報告)

・第8回検討会分科会で、KJ法により分類した表題・グループ分けについて最終報告に向けて再検討した。

・「防犯」～みんなでつくる地域の安全・安心

1 防犯はみんなの力で

(1)見守り活動

- ①声かけ・あいさつ運動の推進
- ②登下校時の児童・生徒の見守り
- ③「子ども110番の家」の推進
- ④高齢者を支える安全安心で住みよい地域

(2)パトロール体制の強化

- ①〇〇しながらパトロール
- ②企業の防犯パトロール ③防犯パトロール

(3)防犯意識の普及・啓発活動

- ①防犯予防教室や防犯訓練の実施と参加
- ④自主防犯組織の立ち上げ
- ①防犯団体の設置
- ②市から区への防犯団体設置要請
- ③区組織、町内会組織を活用した呼びかけをする
- ④「広報やちまた」や「ホームページ」の活用

2 活動は情報の共有から

(1)活動団体の横のつながりの強化

- ①防犯団体間の情報交換(情報交換会の開催)
- ②活動団体が連携して活動する
- ③学区単位に連携

(2)情報共有体制の構築

- ①地域安全(防犯・防災)マップ作成
- ②情報ツールの活用

3 安全・安心は環境から

(1)安全・安心は環境整備から(市民参加の環境づくり)

- ①美化、環境の整備
- ②市の花「ヒマワリ」を育てる(ヒマワリロード等)
- ③有償ボランティアの活用(ボランティア情報の提供)
- ④空地、空家対策(見回り活動の1つとして異変があれば警察・消防等に通報する)

(2)区の加入率アップ

- ①区に加入する意義や必要性を啓発する

・「防災」～防災に対応する地域の協働

1 防災は日頃から

(1)自主防災組織の設立

- ①自主防災組織の設立
- ②「広報やちまた」や「ホームページ」の活用
- (2)防災ボランティアセンターの活用
- ①ボランティア組織の有効活用
- (3)地域総合防災計画

2 活動は意思と連携から

(1)災害防災意識の普及・啓発活動

- ①防災予防教室や防災訓練の実施と参加
- ②回覧板を活用
- (2)防災ネットワークの推進
- ①平常時からの企業災害ボランティア登録
- ②商店、事業所とタイアップして防災フェアを開催(防災コーナーの設置)
- ③ボランティア団体の情報交換会

・「ボランティア」～協働はボランティアから

1 活動を支えるボランティア

(1)ボランティア活動の推進

- ①ボランティア活動の啓発
- ②ボランティアネットワークの構築
- ③ボランティアセンターの充実
- (2)ボランティアの育成
- ①高校生ボランティアの育成と活用
- ②中学校でのJRC活動の実施
- ③ボランティアシールの活用
- ④1日1回ボランティア宣言
- ⑤社会福祉協議会主催のボランティア講座への参加
- ⑥植栽ボランティア ⑦生きがいボランティア

(3)情報共有体制の構築

- ①地域安全(防犯・防災)マップの作成
- ②情報ツールの活用

2 活動を支えるボランティア

(1)情報共有体制の構築

- ①ボランティア関連メールの配信
- ②ツイッター等の活用
- ③ホームページの活用

3 活動を支えるボランティア

- (1)災害ボランティアセンターの活用
- ①ボランティア組織の有効活用

*次回検討会分科会に向けて各自案を作成し提出する。

3. 次回の検討方針

・各自が提出したキーワード(案)とアイデア(案)を再協議、検討する。・テーマに共通する協働に関する原則、連携手法、仕組み等について考える。・テーマのアイデアを集約しとりまとめる。